

教科名	公民
科目名	公共
グレード	なし クラス単位の授業
単位数	2単位
対象学年	高校1年

科目の概要	変化する社会における文化の継承・発展、人間の生き方・あり方を考える、公民として社会の基本的な仕組みと知識を学ぶ、科目です。
科目の目標	学習指導要領の公共の目標には「人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」とあります。 具体的には、先哲の思想・考え方を学び人間社会のこれからを考える、政治・経済・国際情勢を学び公民としての基本的な知識を身に付けることが目標です。
使用教科書	清水書院『高等学校 公共 私たちがひらく未来・社会』
使用副教材	副教材 資料集 浜島書店『最新図説 公共』
評価の方法	1. 年4回の定期考査 2. レポート・宿題・ノートなどの提出物 3. 出席状況、学習態度などを総合的に判断し、評価する。
学習の方法	・教科書・授業ノート、の確認。 ・問題集による知識の確認、整理。
生徒への一言	まず、知識を持つことは大切です。その知識を考える材料・資料として自ら考える、ということが学習の目標です。知識を得ること（インプット）と知識を用いて自分の考えをまとめる（アウトプット）の両方を大切に学習しましょう。公民(社会)は暗記のみの科目、と考えることは誤りです。

月	授 業 予 定
4月	第1編 公共の扉をひらく 青年期、源流思想（ギリシャ思想・一神教の思想など）
5月	東洋の思想 日本の思想、等
	5月下旬 前期中間考査
6月	日本の思想（続き）、西洋の思想
7月	西洋の思想（続き）、生命倫理、環境倫理、等
8・9月	西洋の思想（続き）
	9月下旬 前期期末考査

10月	第2編 基本的人権の尊重と法 近代国家の成立、統治の基本的な考え、日本国憲法の成立
11月	平和主義、基本的人権の保障、
	11月下旬 後期中間考査
12月	第3編 現代社会の民主政治と社会参画 民主主義、世界の政治制度、選挙のしくみ、等
1月	日本の行政機構（国会・内閣・裁判所）
2月	日本の行政機構（地方自治）、国際政治分野（主権国家・国際連合）、等
	2月下旬 後期期末考査
3月	国際政治分野（冷戦の歴史・軍縮・グローバル化の問題点・現代の紛争・日本の外交）等